

建部

キラリ

No.9

令和8年4月発行

編集・発行 建部地区まちづくり協議会 広報企画部会



上中南の花園

わが町紹介(建部瓦屋寺町)

建部地区には7つの町があります。建部キラリでは、これらの町を順に紹介しており、今回は瓦屋寺町です。

当町は箕作山東麓に位置し、山腹に創建された臨済宗妙心寺派瓦屋禅寺の名を町名としています。この地で聖徳太子が四天王寺建立に際して要した十万八千枚の瓦を焼かせたと伝えられており、中世においては48坊の威容を誇る名刹であったことが確認されています。

瓦屋寺山系には古墳群があり、57基の古墳が確認されており、総数は100基余りと推定されます。

瓦屋寺町には4つの自治会（瓦屋寺、山手、山の神、山の神北）があり、人口は318人（建部全体の11%）です。山手、山の神、山の神北は瓦屋寺地先の南方に位置し、元々田んぼであったが昭和40年代からの経済成長期に住宅開発が進み新たに誕生した自治会です。

【瓦屋寺、世帯数30】 集落は市道瓦屋寺線沿いに南北に広がっており、古くから牛尾神社と瓦屋禅寺を大切に守っています。昔は松茸が採れ、タケノコも出荷する程でしたが年々山の手入れができなくなり、今はタケノコも僅かしか採れません。多くの若者が町を離れるため、社寺の運営管理や自治会活動が大変ですが、元々団結力が強く、住民同士が助け合っています。

【山手、世帯数18】 アパートや高齢世帯があるため、数名の方で自治会役員を担っておられます。ゴミ集積所管理や行政・コミセンからの配布・連絡を中心に、生活に密着した自治会活動を行っています。

【山の神、世帯数47】 アパートも建ち瓦屋寺町で一番多い世帯数です。ふれあいサロンを20年以上前から開催されています。後継者難ですがお互いに助け合い、工夫をしながら自治会活動を行っています。

【山の神北、世帯数26】 住宅が山麓にあるため、土砂崩れが心配となっています。近くの竹藪には珍風景として大きな岩石を割る大木があります。数名の方が中心となり、協力し合いながら自治会活動を行っています。

※訂正：キラリ1月号のわが町紹介欄において、「旧建部村役場の所在地を日吉町」と記しましたが、正しくは上中町でした。訂正しお詫びいたします。

「建部幼稚園は今年度創立70周年を迎えます！」

「見て！タンポポが咲いてる！」「わ、ヨモギの葉っぱ。お団子が作れる！」「ダンゴムシさん起きてきたかな？」…毎日、元気いっぱい外で遊ぶ子どもたち。まだまだ寒い日もありますが、小さな変化を見つけて春の訪れを喜ぶ姿から、「人間も自然の一部なんだ。」という大切なことに気付かされます。

さて、建部幼稚園は、令和8年度に創立70周年を迎えます。地域の皆さんに大切にされてきたこの場所で迎える大切な年です。今年も、瓦屋寺山や田んぼ、畑、公園など地域の素晴らしい場所に積極的に出かけるとともに、園庭の様々な樹木や草花を使った季節に応じた遊びを楽しんでいきたいと思えます。秋には70周年を記念したホームカミングデーも企画中です。詳しいご案内ができましたら、お知らせいたしますので、どうぞお気軽にご参加ください。今年も、「小さくてもきらりと光る」建部幼稚園をよろしくお願いいたします。



建部の自然は、「わたしたちみんなのあそびともだち」・「自分で考える」・「自分で決める」ことを大切に、今年も、自然の中で、のびのびと遊んでいる建部幼稚園の子どもたち。

このように、遊びながら学ぶ本園の活動に対し、ソニー財団の奨励園にも選んでいただきました。小さくてもきらりと光る楽しい取り組みを、今後もこの建部の地で続けていきたいと思えます。



建部HappyTimeProject

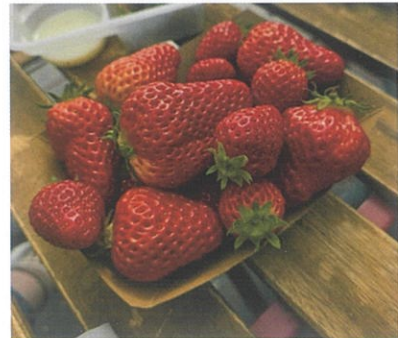
建部まちづくり協議会・建部地区青少年育成会が中心となり、建部地区の魅力発信をコンセプトに親子イベントや子どもファーストイベントを開催しています。参加申し込みには、公式LINEを使用しています。ぜひ、友達登録をお願いします！

2月21日（土）わくわくこらぼ村ゲーム交流会を滋賀学園高等学校コンピュータ部の皆さんとコラボ開催しました。イベントは大盛り上がりでした。授業の中で制作したオリジナルゲームの展示を行い、多くの来場者の皆さんに楽しんでいただきました。子どもたちの笑顔、参加者の皆さんの笑顔にたくさん出会うことができました。来年度も参加者の皆さんがワクワクするイベントを企画したいと思っています！

3月14日（土）親子イチゴ狩り2026を開催しました。2年前から建部の魅力を再発見をコンセプトに企画しています！大人気イベントになっています。参加者の皆さんの楽しい会話と幸せな笑顔があふれていました。美味しいイチゴを満喫できましたし、ご家族にとっての素敵な時間になったと思います。

次回は、9月に親子たてべの梨狩り2026を企画させていただきます！

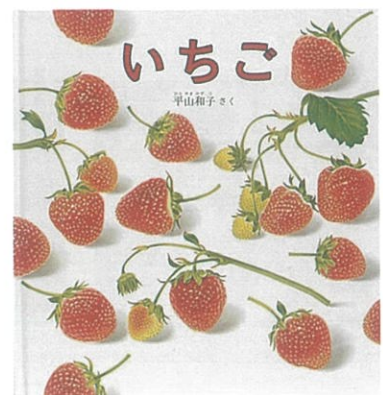
コラボ事業では、参加者の皆さんが笑顔になってくれることをコンセプトにしています。これからも、地域の自然や文化を大切にしながらコラボ事業を展開していきます。



BOOK TIME in 建部

『いちご』 平山(ひらやま)和子(かずこ)／さく 福音館書店

東近江市は県内有数のいちごの産地。建部地区にもいくつか、いちご園がありますね。赤くて甘いいちごは、大人も子どもも大好きな人気者。そんないちごが、どんなふうになくなって実をつけるのか、まるで本物のようにみずみずしい絵で描かれている絵本です。「あたたかくなったよ。いちごはまだ？」「まだまだ まっていてね」…いちごとお話しするような優しい言葉が続きます。最後はぜひ「いただきます」で召し上がれ。



八日市図書館からの案内

ふるさと建部

～建部一揆～

元亀元年（1570年）10月建部郷に一揆が蜂起した。当時、織田信長は大阪へ出陣し、本願寺と三好三人衆を相手に激戦の最中で、浅井・朝倉が志賀城を攻め多数の織田家臣が討ち死にしたので、急遽引返し志賀城を奪還、比叡山麓の砦に武将を配置しつつ、死力を尽くして戦っていた。

9月6日に本願寺顕如が反信長の旗をかかげ江州中郡（犬上・愛知・蒲生・神崎）門徒中にあて、信長と戦うよう訴えた。

小谷城と佐和山城を監視していた秀吉と丹羽長秀は、信長の危機を聞いて救援に志賀へ向かった。この機会に一揆は建部に砦を構え、箕作山と観音寺山をおさえ、両方から中山道を封鎖して、両人の行軍を遮った。しかし一揆は両軍に蹴散らされた。

（ふるさと建部参照 八日市市史 三巻より）



養生の知恵袋

『薬食同源』とは…

みなさん、『薬食同源』という言葉をご存知ですか？

これは、文字通り、「薬」と「食」の源は同じであるということです。中国伝統医学から生まれた言葉で、世界最古の医学書「黄帝内経（こうていだいけい）」の中に、原点があり、治療よりもまずは食養生が大切であると説いています。ひとは食べものを食べなければ生きていけません。食べものが、体をつくり、そして時には薬となって病気から体を守ります。食材にはそれぞれ効能があり、体の不調を改善したり、健康を維持したりすることができます。でも、体質に合わない食事をすると、逆に病気にしてしまうこともあります。例えば、冷え症の人が、体を冷やす食材を食べると、さらに体を冷やしてしまい、足腰に痛みがでたり、むくみがひどくなったりします。体質に合った食事が大切であるということです。近頃、薬膳料理、薬膳鍋、薬膳スイーツなど薬膳という言葉も、よくテレビや雑誌に登場するようになってきました。これらは一見、特別な食べ物のように思いますが、実は、私たちが日々食べる食事の中にも生きています。例えば、お刺身に添えられた大葉やお寿司に添えられたショウガ、冷ややっこに添えられたネギやショウガなどは、薬膳です。大葉やショウガは魚やカニの解毒、そして胃腸を助ける作用があります。また、ネギやショウガは、冷ややっこによって体が冷えすぎるのを防ぐ働きがあります。ショウガや紫蘇、長芋など身近な食材も、たくさん漢方薬に使われ、薬膳と同じ理論に基づいて構成されており、漢方薬は、薬膳の延長線上にあり、長い歴史からも私たちにはなじみ深い物なのです！(^^)！ 【養生庵sakai：込山】



お問い合わせ先
建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター
TEL・FAX:0748-22-0303 IP:5801-0303
Mail: tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

公式LINE
建部地区まちづくり協議会&コミセン
お得な情報やクーポン配信中！

